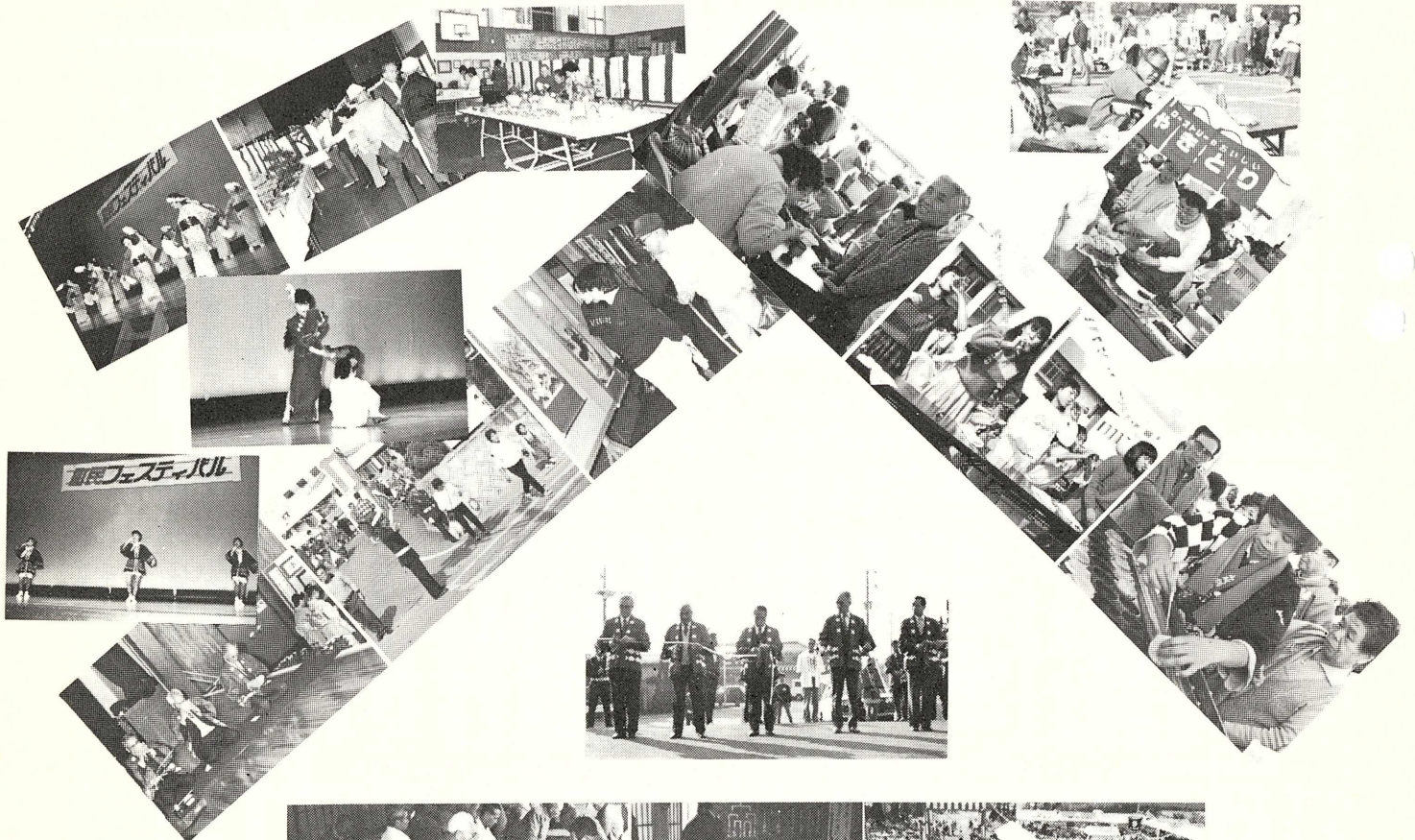


# 広報あがり 12

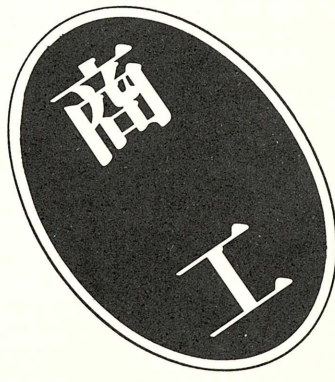
■発行/赤池町役場〒822-11福岡県田川郡赤池町大字赤池1146番地の1 ☎0947(28)2004 ■編集/総務課文書広報係

★町の人口★ 人口10,175(+18) 男4,823(+ 8) 女5,352(+10) 世帯合計(± 0) 61年10月末現在( )内は前月との比較です



(として保存してください)

どこかに  
あなたが



# あつたか〜いい心 そこはもう21世紀

# 緑と清流にはぐくまれた そのとびらをひらけば

二十一世紀の幕開けを待つ、昭和七十五年度までの『第二次赤池町総合計画』がまとまりました。

これは、赤池町の将来を展望し、総合的、計画的に町の振興をはかるため策定されたもので、総合計画審議会の答申を受けて、九月の町議会で可決されました。そこで今月は、総合計画ができたまでの経過、また多忙な時間を割いて、総合計画審議会に出席され答申を出していただいた各委員の皆さん方の紹介、そして概要をお知らせし、新年号よりその内容に入っていきます。

## 計画策定の趣旨

赤池町は、昭和十四年の町制施行当時から石炭産業を基幹として発展を続けましたが、昭和三十年代のエネルギー革命の進展に伴って石炭産業は一挙に衰退し、著しい人口減少の道をたどり、後に残されたものは、職を失くした多くの入々と働けないお年寄り、老朽化した炭住街、種々の鉱害、危険なボタ山等の石炭後遺症であり、貧困と精神的荒廃が地域を覆い、地域社会は崩壊しました。

このため、国・県の政策はもとより、本町でも昭和四十七年に「町全体の生活向上と、明るく健康で豊かなまちづくり」を目指した総合計画をたて、町政の進展をはかりました。

これにより、生活環境、福祉、教育などの面で着実にその水準は向上してきましたが、産業経済面においては努力を重ねてきたにもかかわらず、基幹となる産業を形成するに至らず、また社会経済情

勢の変化もあり依然低迷を続けています。赤池町をとりまく社会経済情勢は、安定経済成長の長期化、社会の成熟化、国際化、高度情報化等の進展がみられるとともに、人口の地方への還流、高齢化が進んでおり、これらの社会経済情勢の変化に柔軟に対応する必要があると見られます。

## 計画の構成

これらの情勢をふまえ、改めて赤池町の将来を展望し、総合的、計画的に本町の振興をはかるため、第二次総合計画を策定することとしました。

## 計画の性格と役割

本総合計画は、赤池町をとりまく諸情勢を長期的に展望し、本町の目指すべき将来像の実現に向けて、総合的かつ計画的な行政運営をはかっていくための指針となるものです。

しかし、目指す将来像の実現のためには、単に町行政のみではなく、すべてが一体となって努力し

ていかなば実現することはできません。従って、この計画は、住民の皆さんや民間団体の意向を充分にとらえて策定したものであり、単に行政活動のみだけでなく、住民の皆さんや民間活動の指針としての役割をも担っています。

### ①基本構想

赤池町の目指す将来像及び施策の大綱を明らかにするものであり、基本計画、実施計画の基礎となるものです。

### ②基本計画

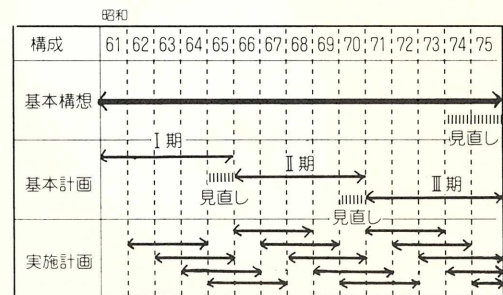
基本構想で示した将来像の実現に向けて、各部門毎に具体化し体系づけて施策の方向及び主要な施策を示すものです。

### ③実施計画

基本計画で定められた施策の方向に基づき、これらを現実の行政や民間活動の中で、具体的にどのように実現していくかを明らかにするものです。

## 目 標 年 次

- ①基本構想——昭和75年度（西歴2000年）
- ②基本計画——第1期 昭和65年度  
第2期 昭和70年度  
第3期 昭和75年度
- ③実施計画——3年後を目標とし、毎年度ローリングによる見直しを行う。



以上3つの構成からなり、それぞれの示す役割をもっています。

活発な意見続出の  
総合計画の審議会



赤池町総合計画審議会委員のみなさん(敬称略)

氏名	所属	住所
(委員長) 山下 次男	町議会議員	赤池 389番地
(副委員長) 日高 邦夫	学識経験者	市場1908番地
竹沢 和雄	町議会議員	赤池64番地の1
浦田 勇	町議会議員	上野 122番地
立花 杉夫	町議会議員	市場 865番地
平元 光年	町議会議員	上野3617番地の6
浦田 弘二	教育委員	赤池28番地の1
小松 久行	農業委員	上野4024番地
小松 春義	農業委員	上野3854番地
世良 数正	田川農協赤池支所	赤池1156番地の7
村上 猛	P T A 会長(市場)	赤池 261番地
桑野 通	下田川衛生組合	方城町弁城3025番地の1
高林 悦子	婦人代表	赤池 859番地
早川久美子	婦人代表	赤池 371番地
池田 尚	青年代表(若い会)	赤池 618番地
大久保紀子	青年代表(若い会)	上野471番地の2
青柳 一夫	観光委員	上野2812番地の1
加藤 正士	商工会代表	赤池 389番地
池田 晃	福祉団体代表	赤池 618番地
小松 篤生	労働団体代表	上野3829番地の1
村上 慶悉	学識経験者	上野1065番地の2
藤本 鈴子	学識経験者	赤池1051番地の65

## 計画策定までの経過

- S 57年3月 第一次赤池町総合計画 画期間終了
- S 59年9月 第二次赤池町総合計画 画策定庁議で決定しました。
- S 60年1月 計画策定委員の任命 町職員で六分科会を構成 県地方課の職員による講演：全計画策定委員対象

- 7月 町民意識調査(住民アンケート調査)実施 町内全世帯対象：おぼえていますか？(広報あかいかい60年12月号で結果公表)
- 11月 各課に聞き取り 分科会はじまる
- 12月 分科会終了 分科会通算27回開催 策定会議で素案決定
- 4月 総合計画審議会が開 始されました。
- 8月 総合計画審議会終了(審議会は八回開催されました) 答申が出されました。(写真)
- 10月 十月臨時議会でも可決 されました。



▲山下委員長(右)より答申を受けとる日野町長

消防団年末警戒……28日～30日

赤池町人権旬間……4日～13日